



『しまの宝』

第22号 R3.2.22発行

文責：校長 日高 洋子

一月往ぬる 二月逃げる三月去る

あっという間に1月が過ぎたと思っていましたが、2月もすでに、半ばを過ぎてしまいました。3月を迎えるにあたり、学校では、1年間のまとめに取りかかっています。それぞれの学級では、子ども達が自分の目指す姿になれたかどうかの振り返りが始まっています。しかし、「できたか」が全てではありません。本校では「敢為の精神を持って取り組んだか」を重視しています。「できたか」どうかは当然ゴールとして、目指すべきものですが、私たちはそのプロセスと、わずかでも「成長が見られたか」を大事にしたいと考えています。全校児童生徒11名が自分を磨き、少しでも変わることができているなら、この1年の成果があったということです。

3月は「去る」月です。「別れ」の月でもあります。誰もが、成長を喜び次の世界へ大きな期待を持って旅立つ時です。子ども達には、自分の成長を振り返りながら、次年度へのスタートラインをしっかりと地ならしさせて行きたいと思います。1年が過ぎて、子ども達は俳句も上手になりました。長崎新聞に今回も掲載されています。

【ジュニア俳壇】

◎秀逸 大櫛優樹

うちのネコ 朝はこたつで 夜ふとん

◎佳作 狩野潤奈

極限まで ふとんの中で 丸くなる

◎佳作 白水南帆

午後七時 妹の宿題 オリオン座

【レッツ575】

帰り道 ポツンとさみしい 雪だるま 狩野琉嘉

寒い冬の情景が目には浮かびますね。



俳句コンクール秀逸も！

福太郎さんと蒼士さんは第16回五島列島小中高校生短歌・俳句コンクールで秀逸をいただきました。上五島を含む五島列島から1900作品の中から厳正な審査を経て2人が選ばれています。

【秀逸作品】

寒い朝 カマスをねらう 船五せき 越山福太郎
十三夜 今日の給食 栗ご飯 永田 蒼士

素晴らしい感性です。2人の日常生活が豊かなものだということが伝わります。

新聞社がリモートで取材！

中学生の俳句の作品は、優秀作品が多く、揃って各賞をいただきますが、小学生は各賞がつかえません。ですから、今回の福太郎さんと蒼士さんの「秀逸」はとても嬉しいニュースでした。

また、「レッツ575」に幾度となく掲載される、琉嘉さんの作品は、豊かな感性があふれる作品が多いとのことで、長崎新聞から取材がありました。コロナ禍でなかなか取材に久賀まで来られないので、電話で取材を申し込まれましたが、本校は現在リモート推進中なので、敢えて「リモートをお願いします！」と学校側からお願いし、取材をしていただくことになりました。いくつかの質問に本人が答えるスタイルですが、電話で質問されるよりも、はるかに本人の思いが伝わるインタビューだったと思います。後日、取材の記事が長崎新聞に掲載されるそうです。お楽しみに。

久賀の俳句、一つひとつは全ての子ども達の成長と共に、感性が磨かれた良い作品ばかりが勢揃いしています。年度末には句集「ひさかの四季」にまとめ、出張所、郵便局、JA、藤原邸などに置かせていただきたいと考えておりますので、ぜひ、各所にてご覧ください。

入学説明会を開催

令和3年度の小中学生の入学予定者に向けて、入学説明会を行いました。今のところ、小学生は1名、中学生は2名の予定です。特に小学生は地元出身の優樹さん(現中学2年)以来の入学となり、学校あげて大歓迎しています。1年生の入学は、学校が明るくなります。中学生は、しま留学生の福太郎さんと、家族留学生の琉嘉さんが本年度に引き続き、久賀島に残る予定です。

新小学1年生で入学予定の末吉朝陽^{すえよしあさひ}さんは在校生と一緒に、体育館でこれから何をするのか、先生のお話を上手に聞くことができました。

お話の後、侑都さん、南那美さん、蒼士さんと、体育館で新聞紙を丸めたボールを投げたり、新聞紙を体に巻き付けて走ったり、元気いっぱいの様子でした。蒼士さんは活動後、教室にはいって、水槽の中の生き物を見せてくれました。↓



新中学1年生の2人は日頃から、一緒に活動してなれている、南帆さんと彩さんの2人と数学の授業を体験しました。最初は「数学かぁ」と気乗りしていないようでしたが、いざ『数学の魔術師』の田中先生の授業が始まると、大きな笑いに包まれた、和やかな雰囲気です。「あれ？数学こんなに面白い？」という表情の2人でした。その後の説明会では、中学生になったら、こんなことも、あんなことも自分でできるようにならなければ、と気持ちを新たにしていました。



スクールカウンセラー 池田先生の講話

本年度、池田先生には、度々学校へ来ていただき、全校児童生徒の不安なことや心配なことなど多様な心の動きについて、カウンセリングの専門家としてフォローしていただいています。しかし、公認心理師の資格を有する池田先生に教育相談だけではもったいないので、学校保健委員会の活動の一部としても講話をお願いしました。

今回は全校生徒、職員を対象に「ストレスとの上手な付き合い方」というテーマでお話をいただきました。

- (1) 「ストレス」ってなに？
- (2) ストレスで力が出せる？
- (3) たのしいこともストレスに！？
- (4) ストレスとうまくつきあうには

の4つの柱で、大人にも参考になるお話でした。

『ストレスは、大きいとつらくなりますが、ほどよいストレスがあった方が力を出せる！』といったお話に、子ども達も驚いた様子でした。

講話の最後に、

- ① **ストレスには小さいうちに解決しよう**
- ② **ストレスに気づいて「ふーん」と受けとめよう
誰かに話そう**
- ③ **「深呼吸」をしてみよう**
- ④ **助けてもらおう 手伝ってもらおう**
- ⑤ **「自分を助ける方法」を試そう**

このような5つのお話でまとめていただき、各自、感想を書いて振り返りを行いました。最後は、潤奈さんが児童生徒を代表して、「ストレスのことがわかって、上手に付き合ってみようと思いました。」と発表しました。

